

# 2022(令和4)年度 活動報告

- 2022(令和4)年度 事業項目別活動報告

- 各課の活動報告

  - 基幹センター 地域支援課

  - 石巻地域センター 地域支援課

  - 気仙沼地域センター 地域支援課

  - 「伝承」に向けた取り組み

- 他誌掲載原稿



# 2022(令和4)年度 事業項目別活動報告

2022(令和4)年度のみやぎ心のケアセンターが実施した地域住民支援、支援者支援、普及啓発などの事業実績について、各項目別に報告する。

なお、以降の図に関して構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

## 1. 2022年度の実績・全体数(表1)

表1 所属ごとの活動件数

	各地域センター地域支援課			基幹C 管理職	サポーターズ他	合計
	気仙沼	石巻	基幹			
地域住民支援	2,190	365	193	1	0	2,749
支援者支援	105	155	37	2	0	299
普及啓発	155	22	31	22	0	230
各種活動支援	0	0	0	1	0	1
会議連絡調整	222	306	178	16	0	722

## 2. 事業項目別

### (1) 地域住民支援(表2)(表3)

表2 支援方法別対応延べ人数(手紙を除く; N=2,716)

支援方法	人数
訪問による相談	451
来所による相談(相談窓口などでの対応を含む)	1,269
電話による相談	904
集団活動の中での相談	39
ケース会議(対象者出席の場合)	16
受診同行	28
その他	9
計	2,716

表3 当センター初回支援時の経路(複数選択; N=153)

相談経路	人数
健康調査・全戸訪問	13
行政機関から	10
本人から	65
家族・親族から	16
サポートセンター・仮設支援員から	1
医療・福祉機関から	6
その他(近隣住民、職場、不明、その他)	50

①支援対象者について

a. 性別、年齢および就労状況（図1）

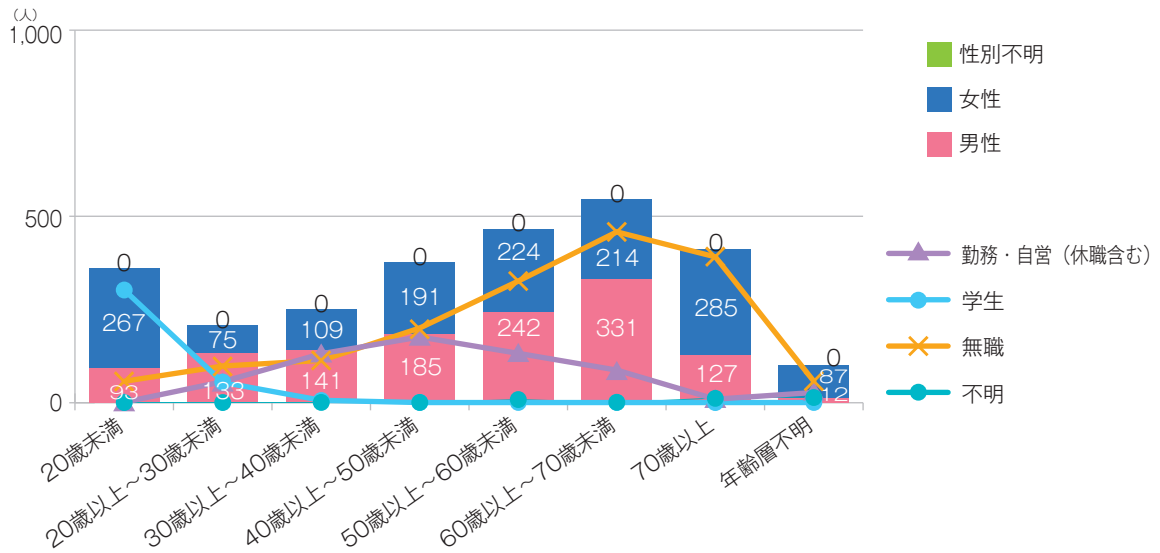


図1 性別・年齢階層別支援対象者数 (延べ人数; N=2,716)

b. 被災状況

死別の状況と対象者（図2・3）、負傷状況（図4・5）、住宅被害（図6・7）

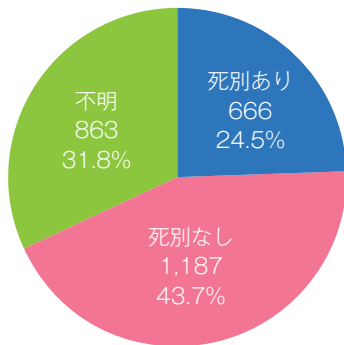


図2 死別の状況 (延べ人数; N=2,716)

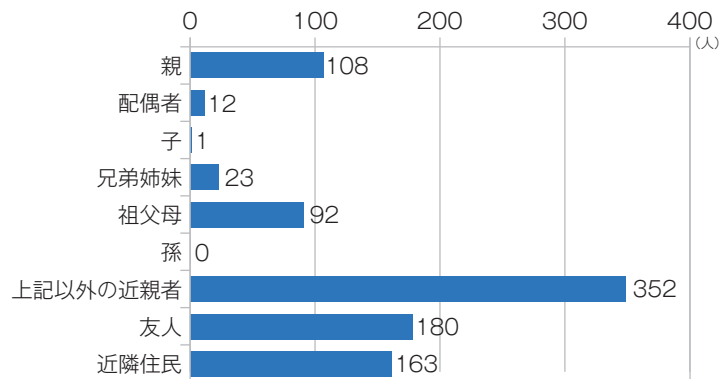


図3 死別の詳細 (延べ人数、複数選択; N=666)

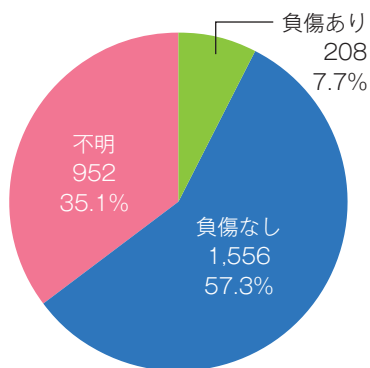


図4 本人または近親者の負傷の有無 (延べ人数; N=2,716)

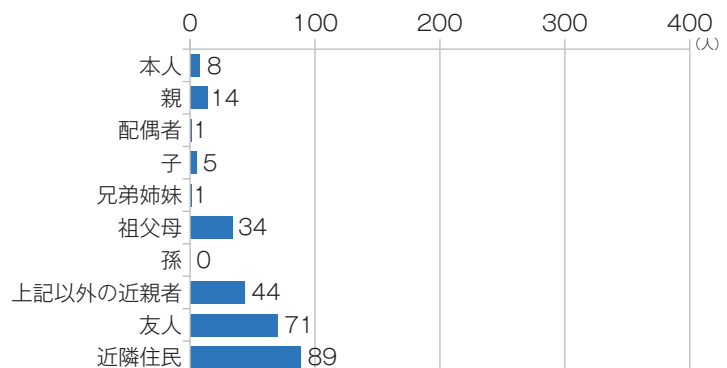


図5 負傷者の詳細 (延べ人数、複数選択; N=208)

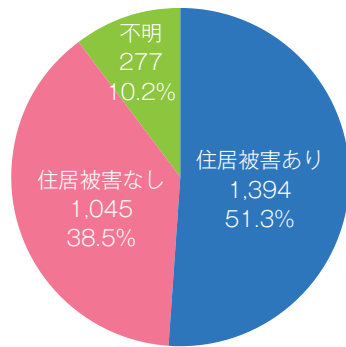


図6 住宅被害の有無  
(延べ人数；N=2,716)

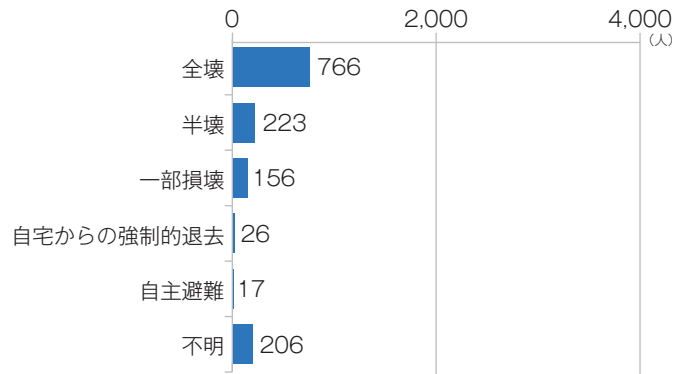


図7 住宅被害の詳細 (延べ人数；N=1,394)

c. 生活状況 (表4・図8・9)

表4 現在の居住環境 (延べ人数；N=2,716)

居住環境	人数
自宅	1,936
プレハブ仮設住宅	0
民間賃貸借上住宅	0
災害公営住宅	715
その他・不明	65

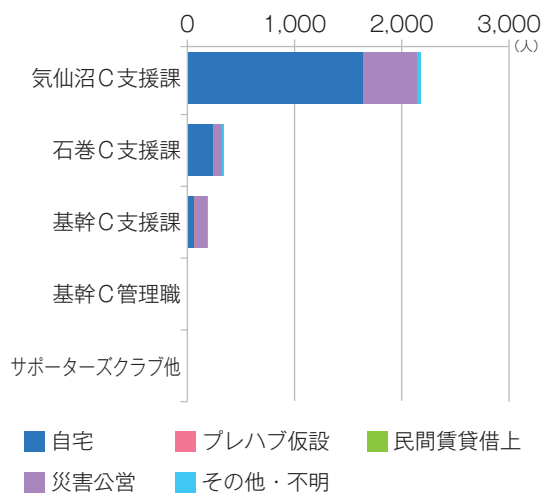


図8 担当課ごと現在の居住状況  
(延べ人数；N=2,716)

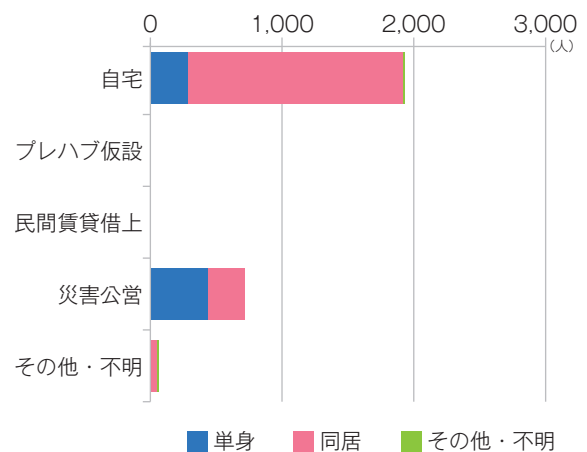


図9 居住環境と世帯の状況  
(延べ人数；N=2,716)

d. 相談の背景 (図10)

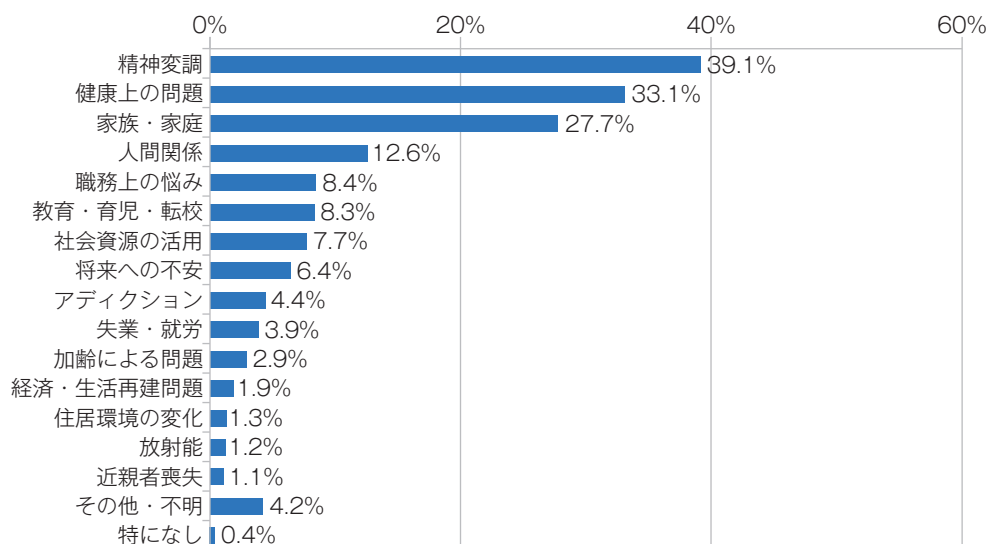


図10 相談の背景の有効回答数に対する割合 (延べ人数、複数回答; N=2,716)

e. 精神変調 (図11)

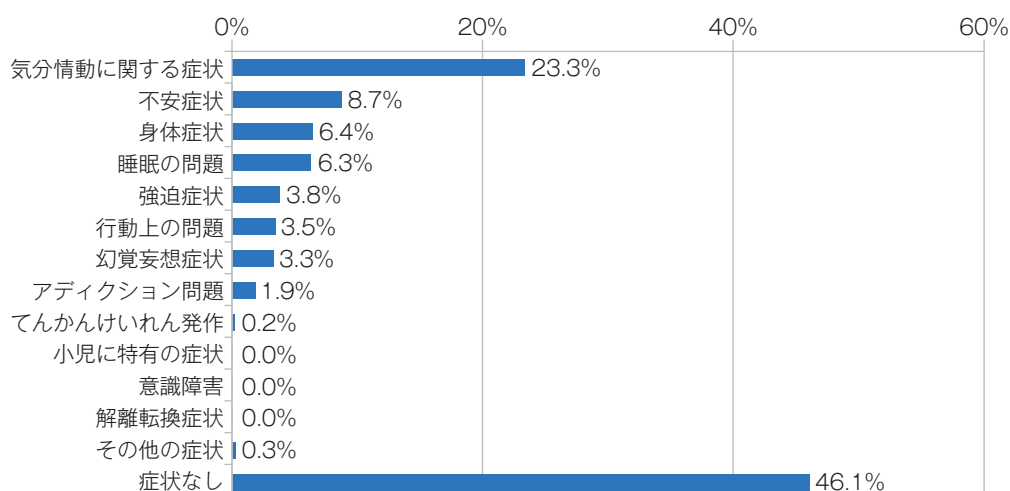


図11 精神変調内訳の有効回答数に対する割合 (延べ人数、複数回答; N=2,716)

f. 精神科受診歴の有無と病名、発症時期、現在の治療歴 (表5・図12)

表5 受診歴と現在の治療状況 (延べ人数; N=2,716)

精神科受診歴	人数
(治療継続中)	1,213
(治療終結)	49
受診歴あり (治療中断)	236
(未治療)	8
(治療状況不明)	14
受診歴なし	852
受診歴不明	344

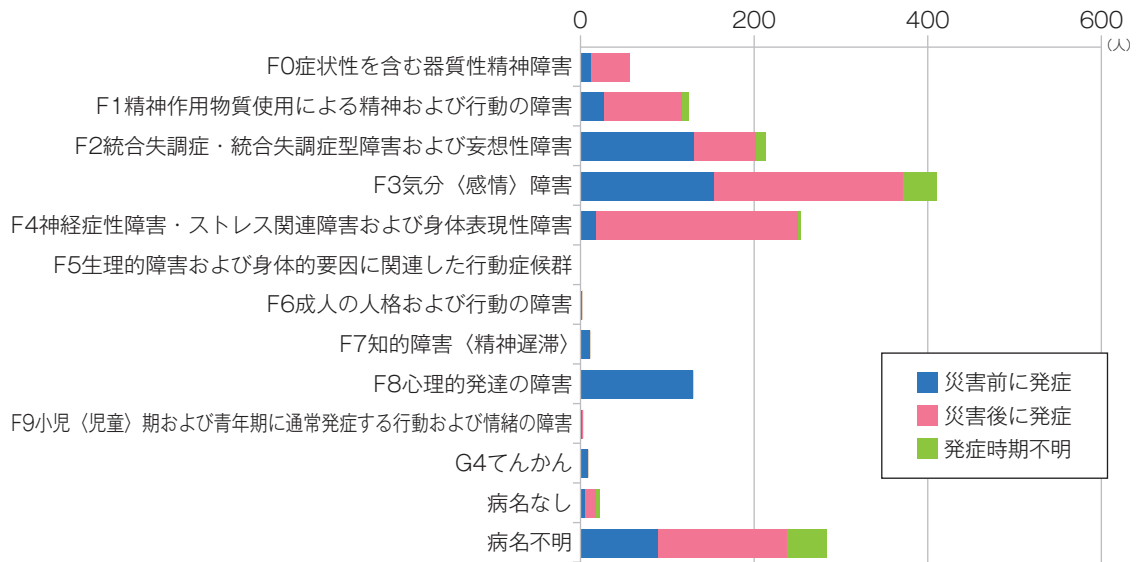


図12 受診歴あり・病名ありの方の疾患分類別人数（延べ人数、複数回答；N=1,520）

②支援内容について

a. 担当課ごと支援方法別件数（図13）

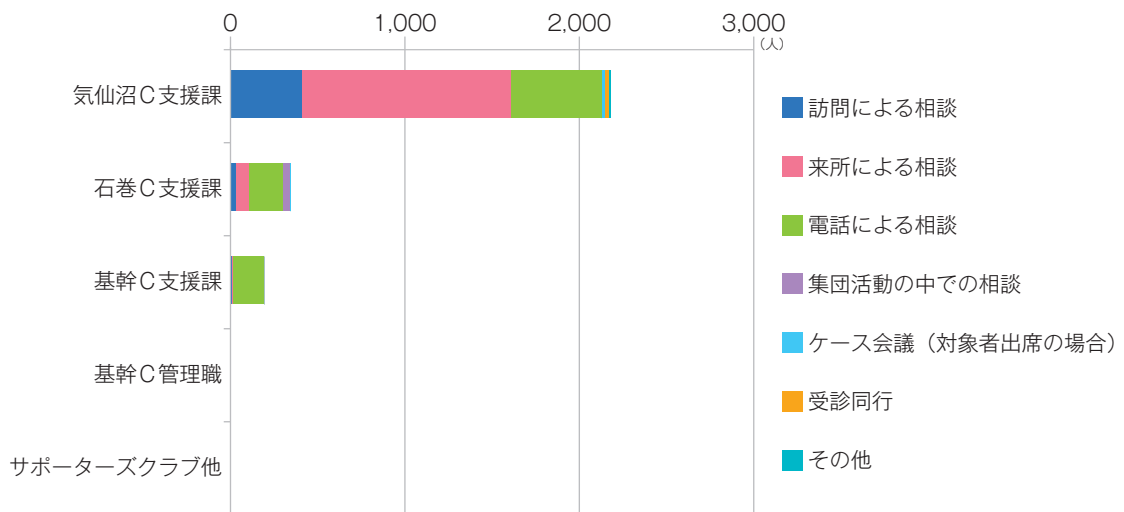


図13 担当課ごと支援方法別件数（延べ人数；N=2,716）

b. 相談者の内訳（図14）

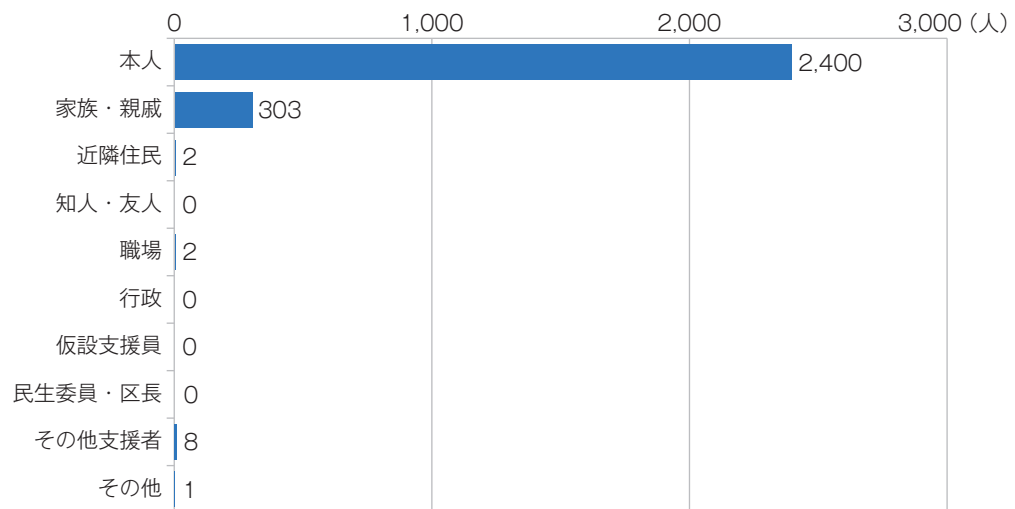


図14 相談者別人数（N=2,716）

c. 他機関による同席（図15）

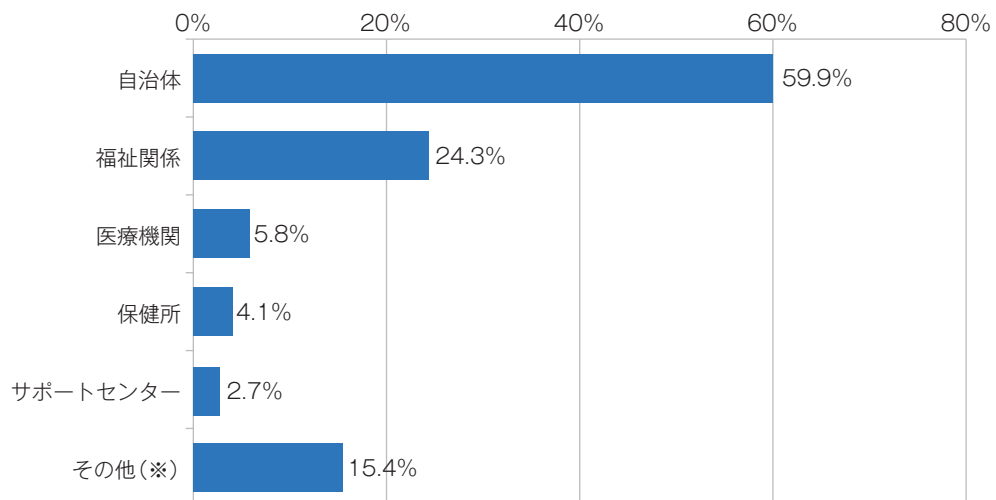


図15 同席他機関の有効回答数に対する割合（延べ人数、複数選択；N=292）

※「その他」には、教育機関、自治会役員、生活支援センターなどを含む。



d. 担当課ごとの特徴（図16）

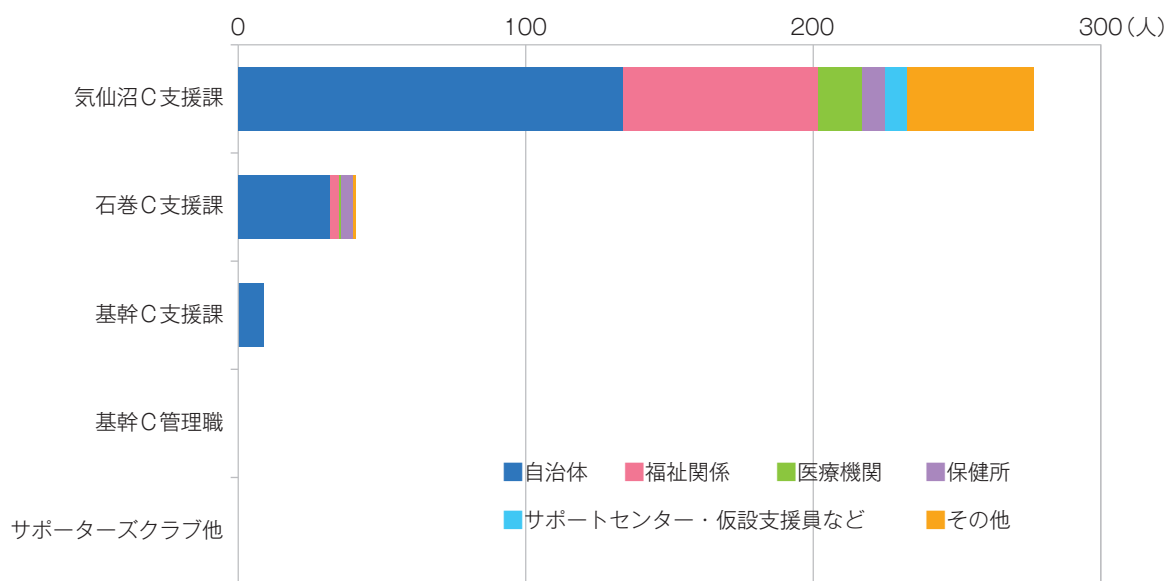


図16 担当課ごと 同席他機関の内訳 (延べ人数、複数選択；N=292)

③支援終結状況について（表6・図17）

表6 転帰 (N=2,716)

対応状況	人数	
継続 (延べ)	定期面談	1,816
	必要時面談	604
	その他	0
終了 (実数)	状況改善	256
	他機関紹介	36
	支援拒否	4
	その他	0

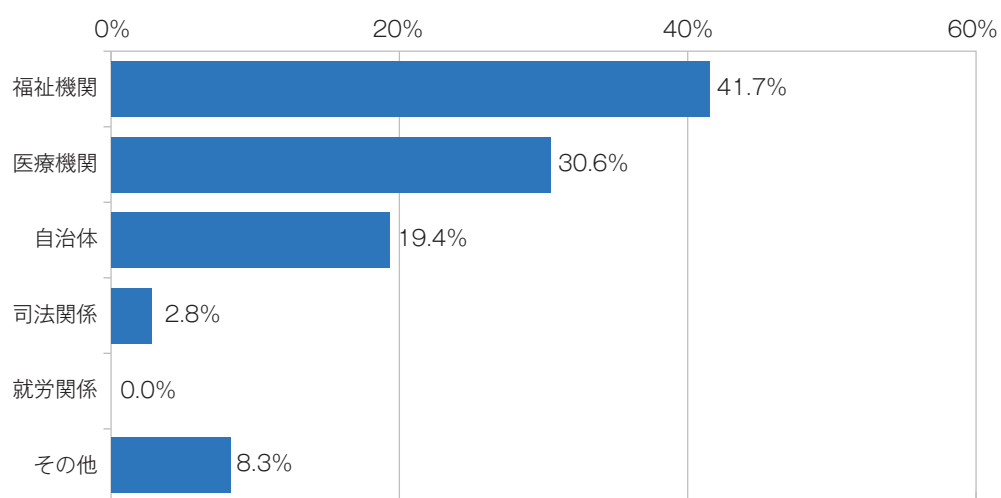


図17 他機関紹介内訳の有効回答数に対する割合 (延べ人数、複数選択；N=36)

(2) 支援者支援

①支援実施状況

a. 支援件数 (表7)

表7 支援者支援実施状況 (延べ件数; N=299)

支援内容	件数	対象者数
訪問・面談後の報告	28	30
専門的立場からの指導・助言	115	183
地域の課題	1	30
職場のメンタルケア	1	16
ケース会議 (対象者欠席の場合)	33	323
心の相談窓口の開設	24	25
健診支援	38	262
事務作業の支援	5	7
その他 (PFA研修※1、支援スキル研修※2、事業運営協力など)	54	428
計	299	1,304

※1 ※2 2020年度までは人材育成事業として計上した。

b. 専門的立場からの指導・助言の内容 (表8)

表8 専門的立場からの指導・助言の詳細  
(延べ件数、複数選択有; N=115)

専門的立場からの指導・助言詳細	件数
アルコール問題	12
ギャンブル問題	0
薬物問題	0
うつ	8
複雑性悲嘆	0
PTSD	1
虐待	12
その他	94
計	127

表8の「その他 94件」の内訳と割合を図18に示す。

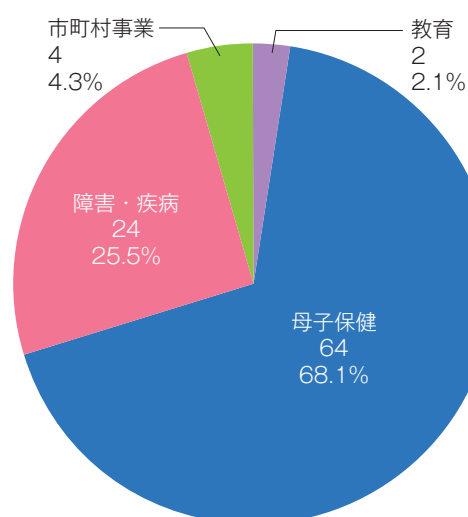


図18 専門的立場からの指導・助言「その他」 (N=94)

c. 支援対象者（図19）

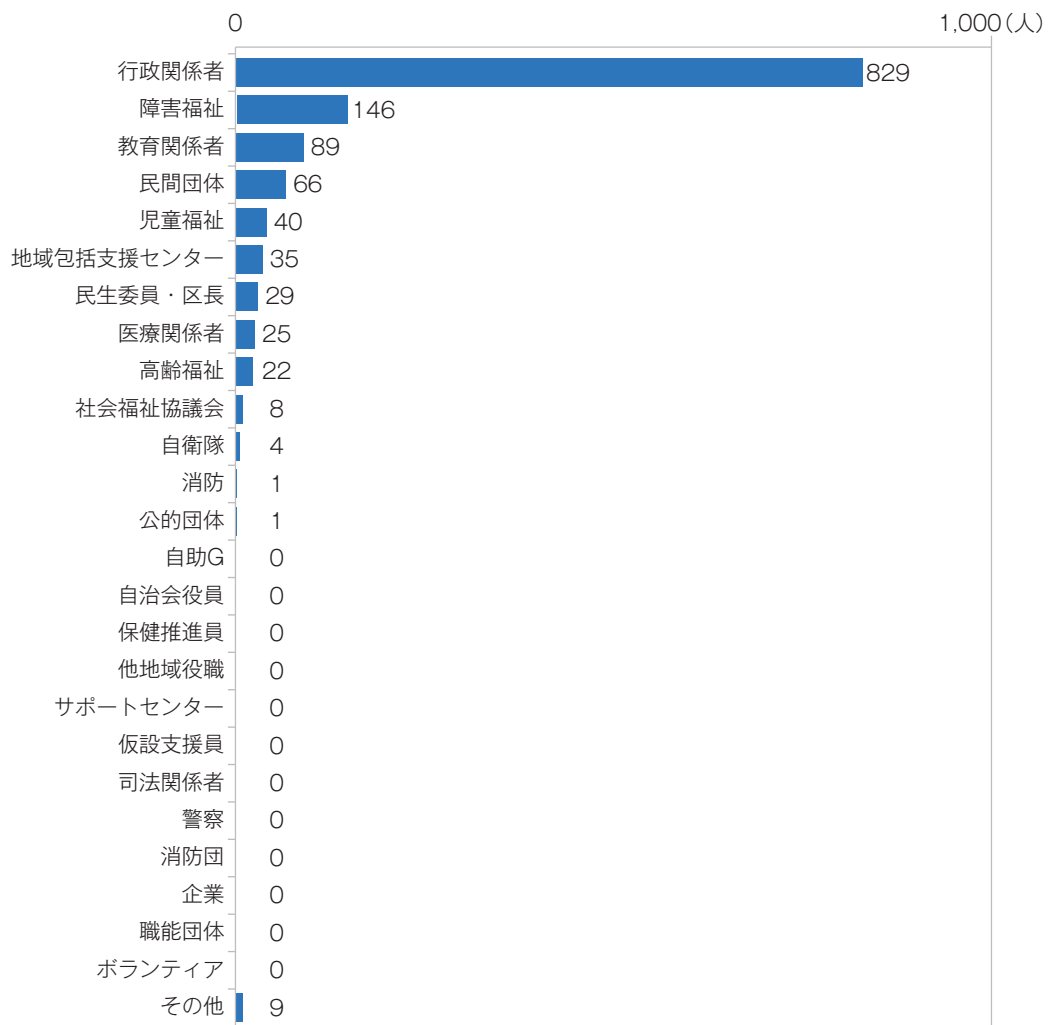


図19 支援対象者詳細（延べ人数；N=1,304）

②担当課ごと支援者支援の実施内訳（図20）

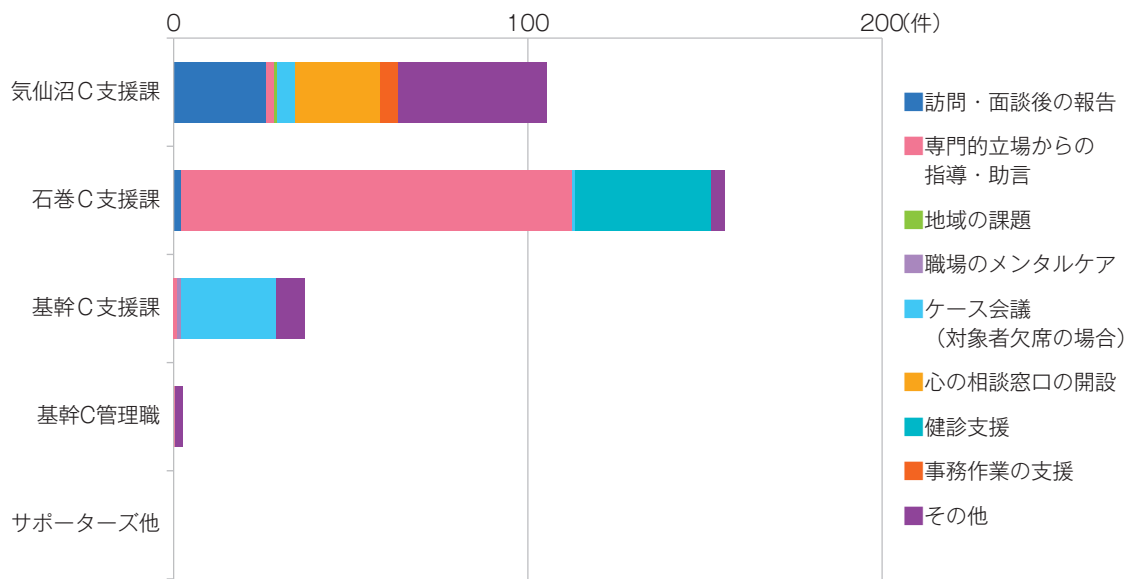


図20 担当課ごと支援者支援実施状況（延べ件数、複数選択；N=299）

③担当課ごと専門的立場からの助言指導の内訳（図21）

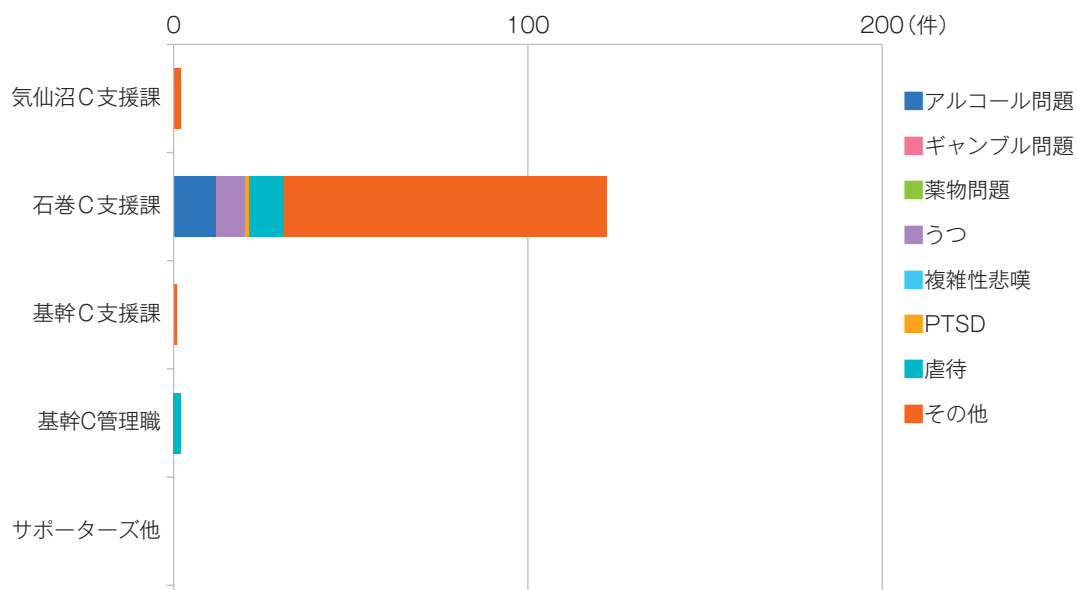


図21 担当課ごと専門的立場からの指導助言の詳細（延べ件数、複数選択；N=115）  
※「その他」の詳細については図18を参照

(3) 普及啓発

①普及啓発物の発行（表9）

表9 啓発グッズなど配布状況

配布地域	タイトル・内容	新規・増刷	作成部数
県内全域	オレンジリボン（子ども虐待防止）ボールペン	新規	50本
	オレンジリボン（子ども虐待防止）蛍光ペン	新規	50本
	オレンジリボン（子ども虐待防止）エコバッグ	新規	50個

②普及啓発研修（表10）

表10 普及啓発研修詳細（N=16）

	回数	参加者数
震災後の心の反応	0	0
精神疾患について	1	11
話を聞く場合の基本的技術（傾聴、遺族対応など）	3	93
アディクション問題（アルコール問題など）について	2	219
震災が子供にもたらす影響	1	7
ストレスと心のケア・セルフケアについて	8	206
体の健康について	1	50
職場のメンタルヘルスについて	0	0
被災地の状況と当センター活動について	0	0

### ③調査研究・学会発表など（表11）

表11 調査研究

実施年	活動月	担当者	調査研究名	詳細
2022年	7月	福地 成	東日本大震災後に出産した母親のメンタルヘルスの問題の遷延に関連する要因の検討	2022年7月14日～15日：第19回日本うつ病学会（ハイブリッド開催：大分県）ポスターセッションにて発表を行った。
2023年	3月	福地 成	東日本大震災後の住民支援における要支援者の特徴の分析－みやぎ心のケアセンターの活動分析からみえること－	2023年3月16日～17日：第41回日本社会精神医学会（ハイブリッド開催：兵庫県）ポスターセッションにて発表を行った。

### ④サロン活動（表12）

表12 サロン活動（N=22）

	各センター地域支援課			その他	合計
	気仙沼	石巻	基幹		
主催・共催サロン	5	0	6	0	11
他機関サロンへの協力	3	8	0	0	11

### （4）各種活動支援（表13）

表13 各種活動支援

実施日	活動名	詳細
2022/5/2	非行児の親の会代表と協議	非行児の親の会代表に対して、会の運営の仕方、個別相談への対応などについて助言を行う。